

## タイトル：共同住宅で住み続けるために考えなければならないこと

講師：佐藤隆夫（関西分譲共同住宅管理組合協議会世話人代表）

コメンテーター：久守一敏

司会：石沢春彦

日時：2014年4月19日（土）13:30～16:30

場所：千里コロボ2階視聴覚室

参加者：27名

### ●佐藤さん講演内容

\* コミュニティ問題・・・プラザ歌島の管理実践報告

・ プラザ歌島・・・西淀川区歌島

・ 1976年7月竣工、RC造・7～8階立て計4棟、480戸、駐車場208台

・ 現居住者約1000人（30%高齢者）

・ 良好なコミュニティをどう維持向上させるか大事

・ 反面不要論もあり、その主張からも学ぶ姿勢がいる

・ マンション共同生活では理念だけでなく、なにかしらの実利も必要では

\* 管理組合活動の経験から・・・

・ 冷静に相手の言い分に耳を傾けること

・ まず、頭を下げることも、ことを円滑に進めること

・ ペット問題も日ごろの付き合いを通じて解消可能。「ペット飼育者の会」による自主規制と管理が進み、管理組合活動との連携も進んだ。例：夜逃げした飼育者に代わって世話をした・・・

・ いろいろやってみて、うまく行かないときにはみんなに問うのが一番

・ 区分所有者にも“あく”の強い人がいる。対応は、冷静さと理事同士の信頼関係が解決。

\* 住み続けにとって大事な事

・ 仲良くだけではだめで、共同で住むメリット、コミュニティの意味も問うていかなければならない

### ●久守さんのコメント

・ 自宅マンションの管理組合の管理状況・・・役員1年ごとに変わるが継続している、

・ 大規模修繕費も工夫して節約している

・ 現行の法制度の勉強が必要

### ●増永の感想：

・ 1月からのプレ講座3回が終わり、今回第1回は関住管世話人の佐藤さんです。マンションの管理や個別マンションの集合組織を動かしておられる佐藤さんです。本連続講座のメインテーマ「住み続け」を正面から取り上げていただき、いくつかの切り口から丁寧に話をいただきました。

・ 分厚い資料を配布していただき感謝。

注) 会場からの意見や意見の交換については省略

(文責：増永)